

北陸新幹線福井開業に向けた
中心市街地における経営の現状と
課題に関するアンケート
調査結果

令和3年7月

福井商工会議所
まちづくり福井株式会社

北陸新幹線福井開業に向けた中心市街地における 経営の現状と課題に関するアンケート調査結果（概要）

2024（令和6）年春に予定されている北陸新幹線福井開業に向けて、中心市街地（福井駅周辺エリア）での小売・飲食・サービス業等の活性化策を検討する基礎調査として実施。福井市中央1丁目エリアに所在する105件の事業所から回答を得た。

本調査結果については、今後、『県都にぎわい創生協議会（事務局：福井県・福井市・福井商工会議所）における議論の参考とする予定。

【本調査のポイント】

1. 新幹線開業後の経営状況予想（P7）

■新幹線開業効果については、約半数が期待

新幹線開業後の駅前における経営状況については、「良くなると思う（7.8%）」「少し良くなると思う（43.1%）」を合わせると、50.9%と半数を超えた。

2. 新幹線開業後、自店の経営動向について（P8）

■「新幹線開業後も現状のまま営業を続けたい」とする割合は飲食業で7割超

新幹線開業後の自店の商売の動向については、全体で見ると、「現状のまま自店の商売を継続したい」と回答する割合は、62.9%となっている。また、業種別で見ると、飲食業では7割超が現状の営業を継続したいと回答した。

3. 中心市街地の再開発への期待について（P13）

■約6割が中心市街地の再開発に期待

中心市街地の再開発への期待については、22.9%が「大いに期待している」と回答した他、「少し期待している」が35.2%となっており、全体の約6割が中心市街地の再開発について前向きに捉えている。

4. 福井駅前地区の将来について（P13）

■約7割が駅前地区の将来について前向きな回答

福井駅前の将来については、「まちづくりの方向性を見定め、環境整備を進めていけば栄えていくと思う」が57.4%、「北陸新幹線や再開発の開業効果もあり、県都の顔として盛り返していく」が14.9%となっており、前向きな回答が併せて約7割を占めた。

【本件問い合わせ先】

福井商工会議所 まちづくり・産業振興課 担当：小谷、山本

TEL：0776-33-8252 Mail：sangyou@fcci.or.jp

【調査の目的】

当調査は、2024(令和6)年春に予定されている北陸新幹線福井開業に向けて、中心市街地(福井駅周辺エリア)での小売・飲食・サービス業等の活性化策を検討する基礎調査として実施したものの。

調査時期：令和3年4月22日(木)～5月7日(金)

調査方法：郵送での送付、FAX及び郵送での回収、直接訪問して回収

調査対象：福井市中央1丁目の209事業所

回答数：105件(回答率 50.2%)

1. 回答者属性

①業種

業種	小売業	飲食業	サービス業	その他	不明
回答数	47	27	23	6	2
割合	44.8%	25.7%	21.9%	5.7%	1.9%

※サービス業・・・美容業(理容室、美容室、エステ)、クリーニング業、宿泊業等

※その他の業種・・・建築業、医療業、製造業等

②従業員数

従業員数	いない	5名未満	5～10名未満	10～30名未満	30名以上
回答数	26	47	16	10	6
割合	24.8%	44.8%	15.2%	9.5%	5.7%

③性別

従業員数	男	女
回答数	67	38
割合	63.8%	36.2%

④役職

役職	経営者・ 経営者家族	幹部・店長 ・スタッフ	その他	不明
回答数	89	14	1	1
割合	84.8%	13.3%	0.95%	0.95%

⑤年齢

年齢	20歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明
回答数	2	11	23	37	19	12	1
割合	1.9%	10.5%	21.9%	35.2%	18.1%	11.4%	0.9%

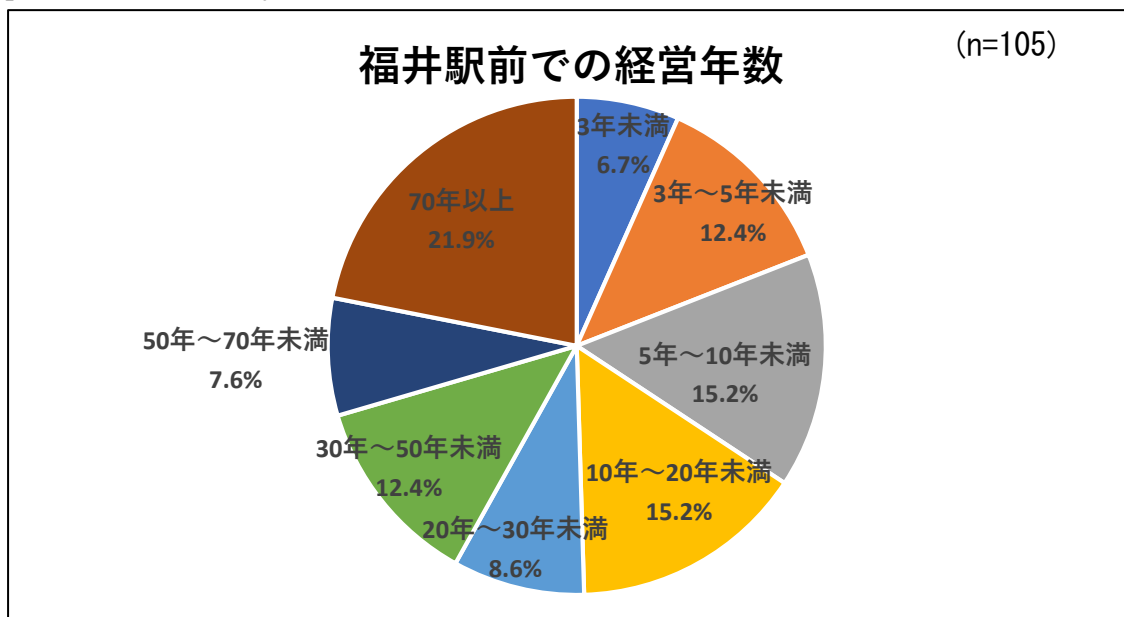
※端数処理により、合計値が合わないことがある。

2. 調査結果

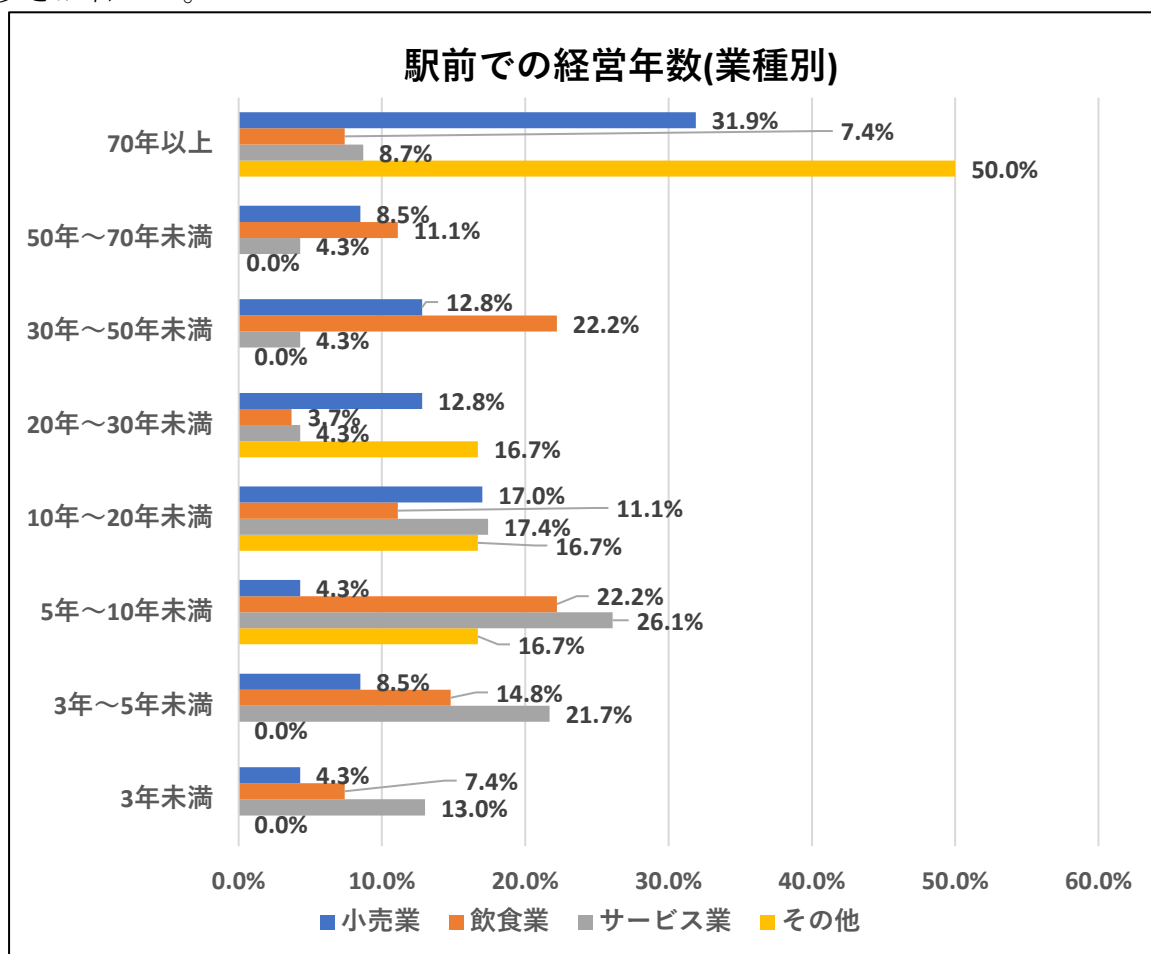
(1) 福井駅前での経営年数

【約3割の事業所が50年以上の業歴】

「70年以上」が21.9%、「50～70年未満」は7.6%となっており、全体の29.5%が「50年以上」の業歴であった。



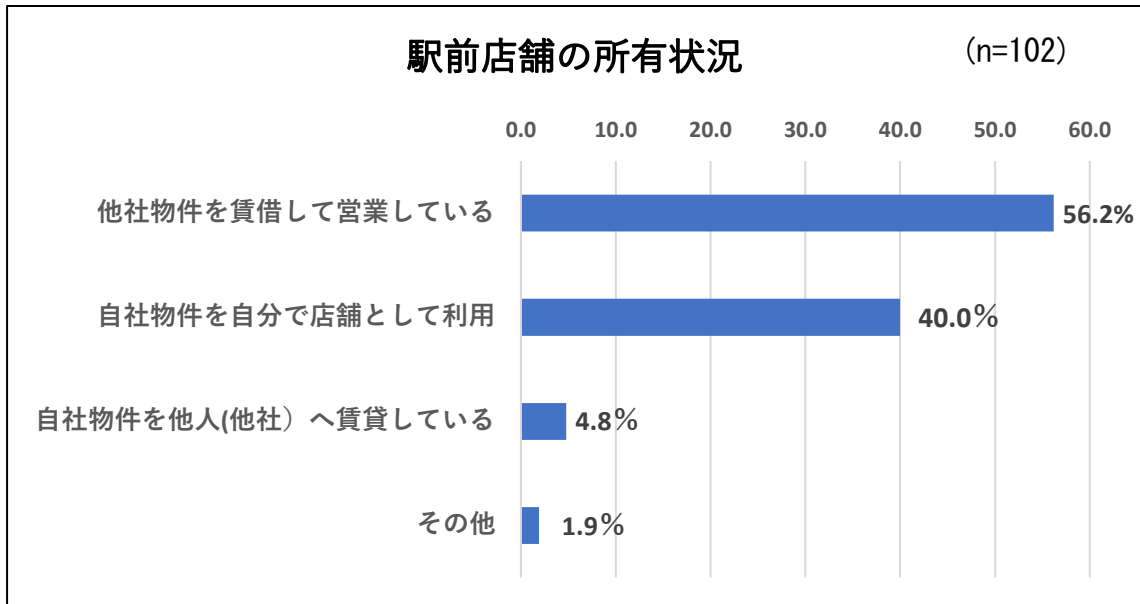
業種別で見ると、小売業で「70年以上(31.9%)」、飲食業で「30～50年未満(22.2%)」、サービス業では「5～10年未満(26.1%)」の業歴がそれぞれ多い。小売業の「70年以上」の業歴の多さが目立つ。



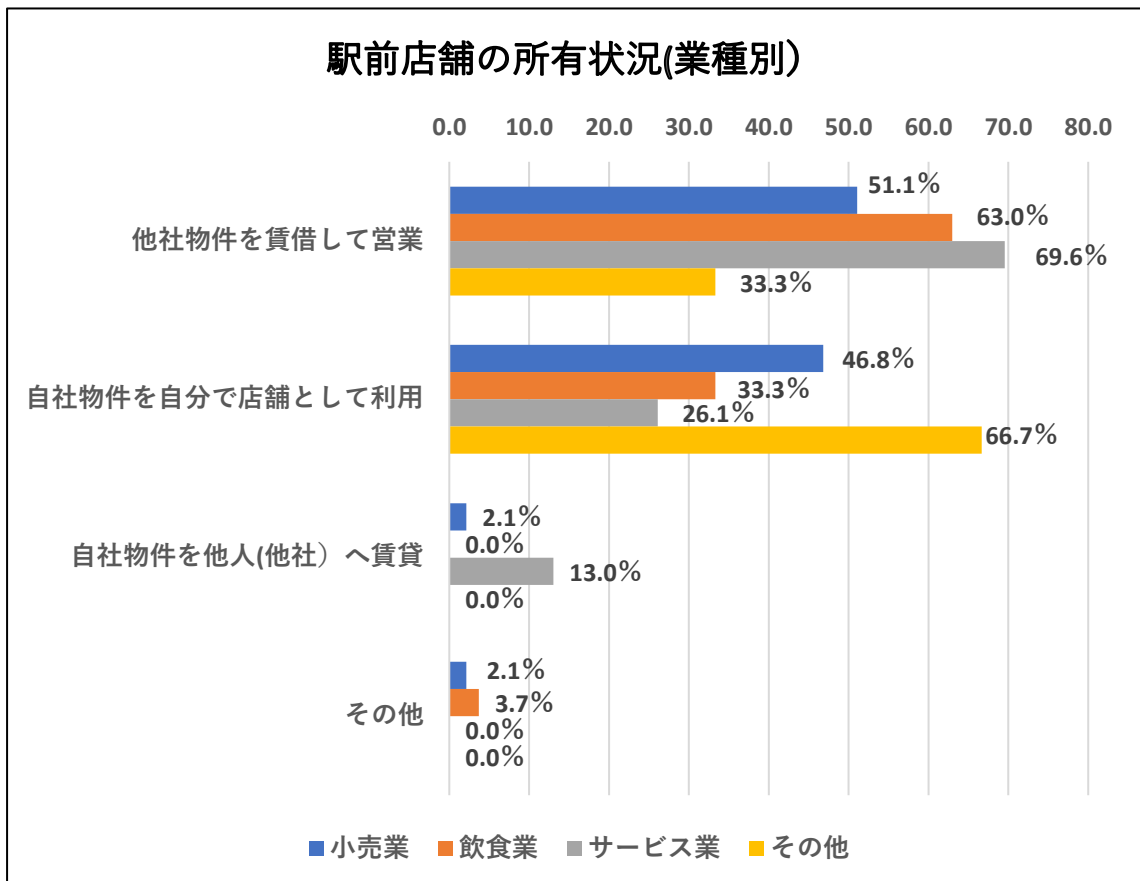
(2) 駅前店舗の所有状況(複数回答)

【他社物件賃借が50%超】

駅前店舗の所有状況について、一番多かったのは、「他社物件を賃借して営業」で56.2%、次いで「自社物件を自分の店舗として利用」が40.0%であった。



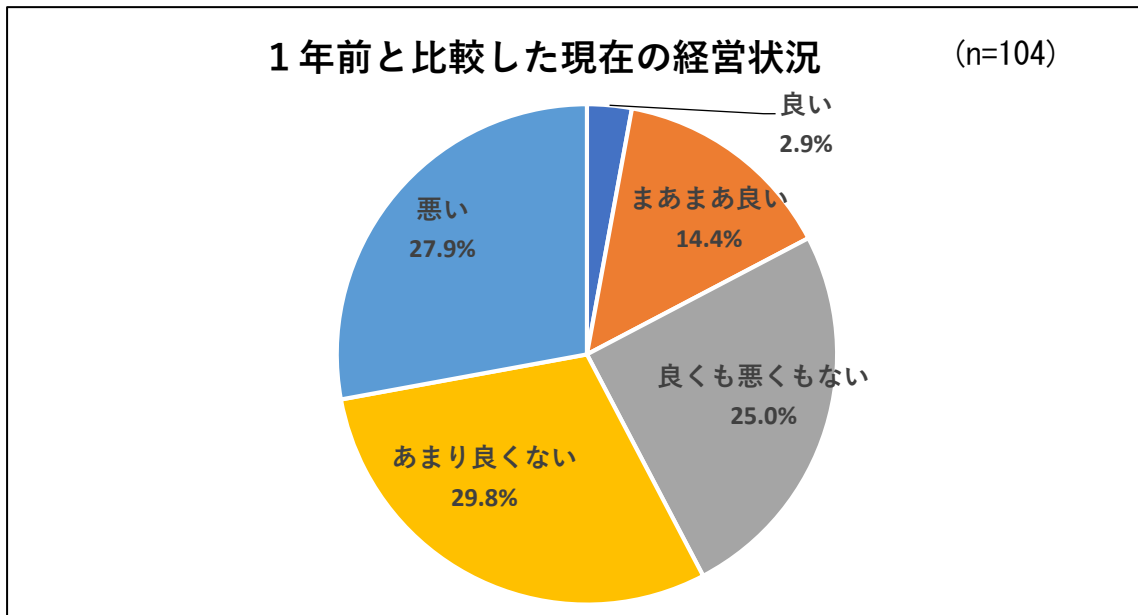
業種別で見ると、「他社物件を賃借して営業」の割合はサービス業が一番多く、次いで飲食業、小売業の順となる(「サービス業」69.6%、「飲食業」63.0%、「小売業」51.1%)。一方、「自社物件を自分で店舗として利用」の割合は、その他業種が一番多く66.7%、小売業が46.8%、飲食業が33.3%、サービス業が26.1%となっており、サービス業は自社物件を持たずに営業している割合が高いことが分かる。



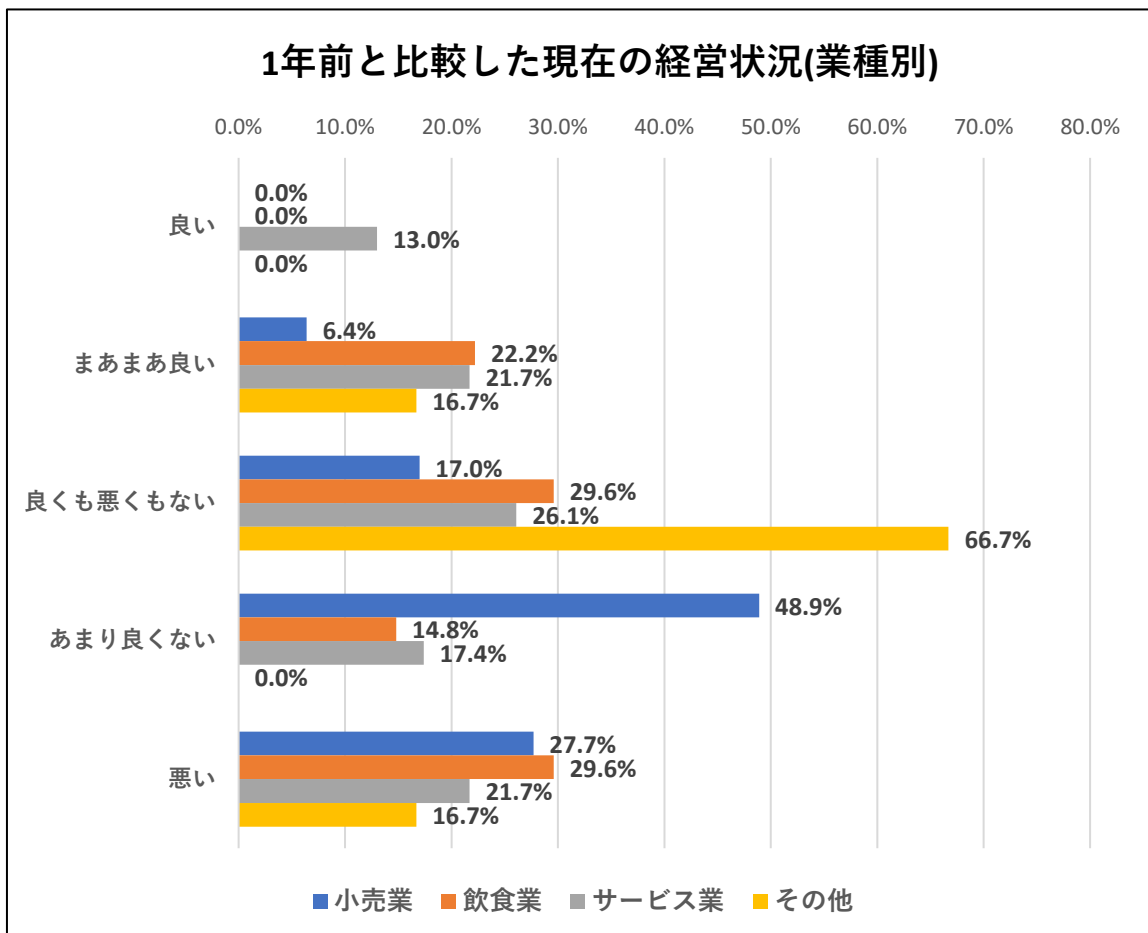
(3) 1年前と比較した現在の経営状況

【約6割の事業所で経営状況悪化の傾向】

1年前(2020年4月)と比較した現在の経営状況については、「あまり良くない」と答えた割合が最も多く、29.8%となっている。次いで、「悪い」が27.9%、「良くも悪くもない」が25.0%となっている。



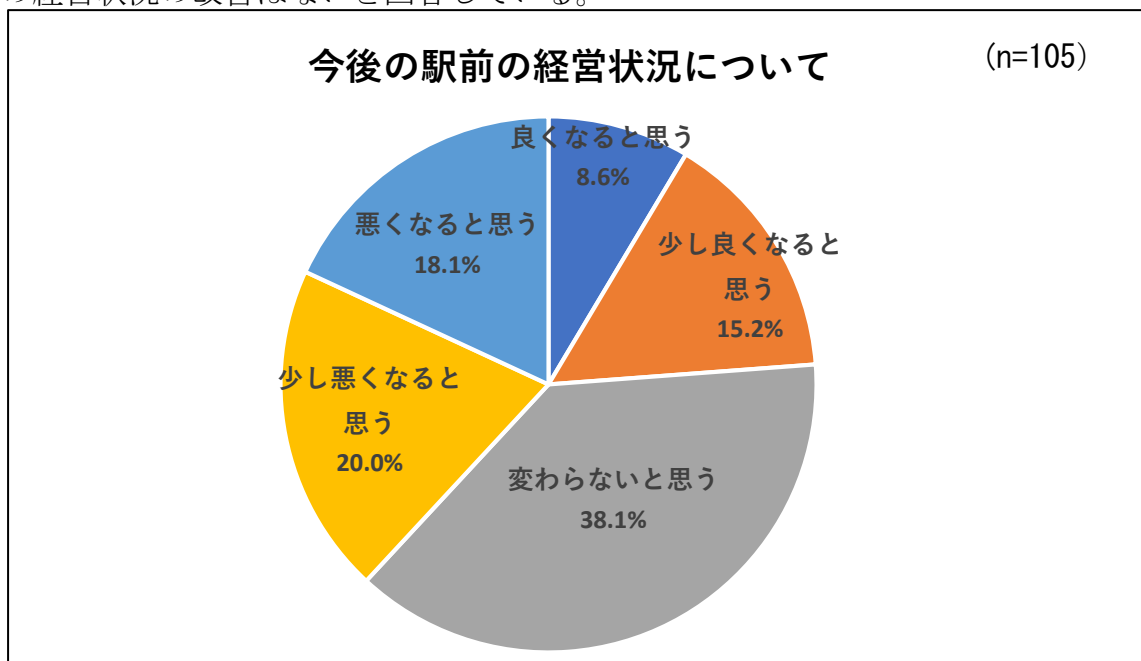
業種別では、小売業で最も多い回答が「あまり良くない」で48.9%、経営状況が悪化したと感じる割合が他の業種よりも高い。飲食業では「良くも悪くもない」「悪い」がともに29.6%、サービス業では「良くも悪くもない」が26.1%であった。



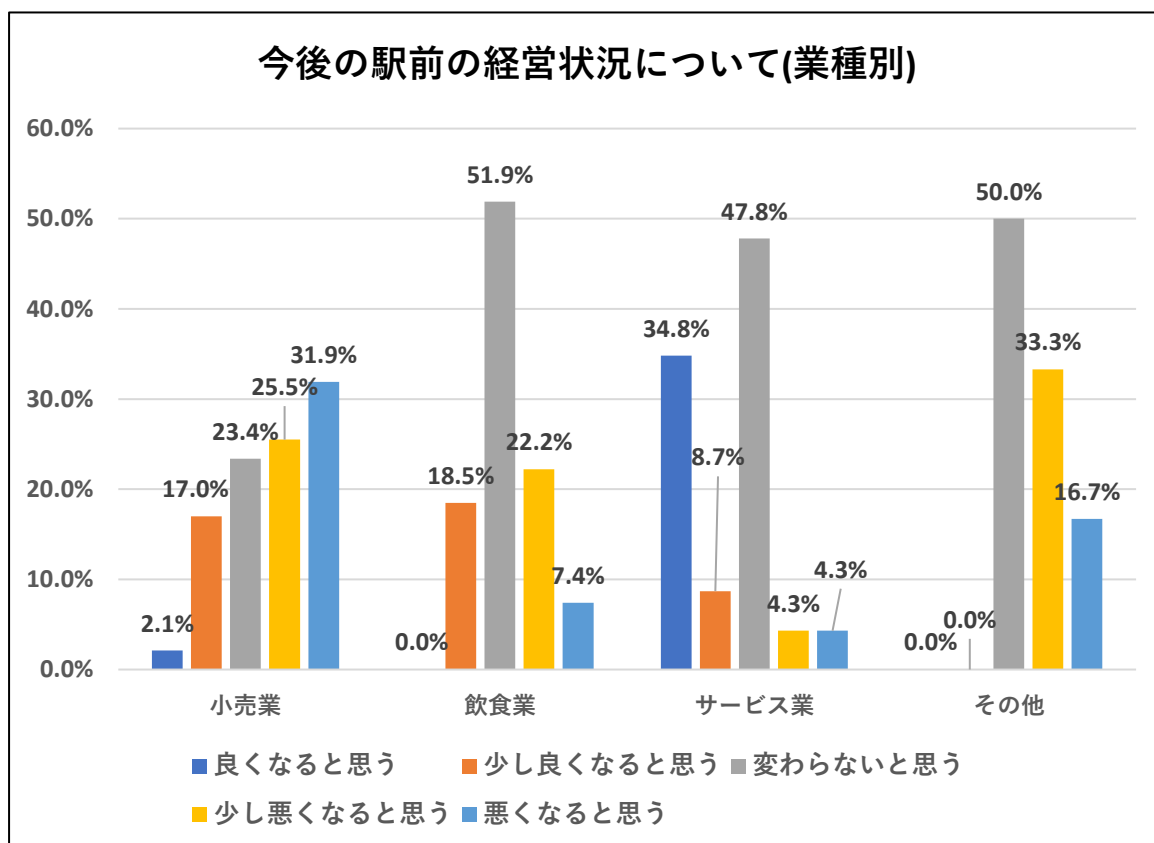
(4) 今後の駅前の経営状況について

【改善とする回答は4分の1程度】

「変わらないと思う」と回答した割合は 38.1%と最も多く、次いで「少し悪くなると思う」が 20.0%、「悪くなると思う」が 18.1%となっており、全体の 76.2%の事業所で新幹線開業までの経営状況の改善はないと回答している。



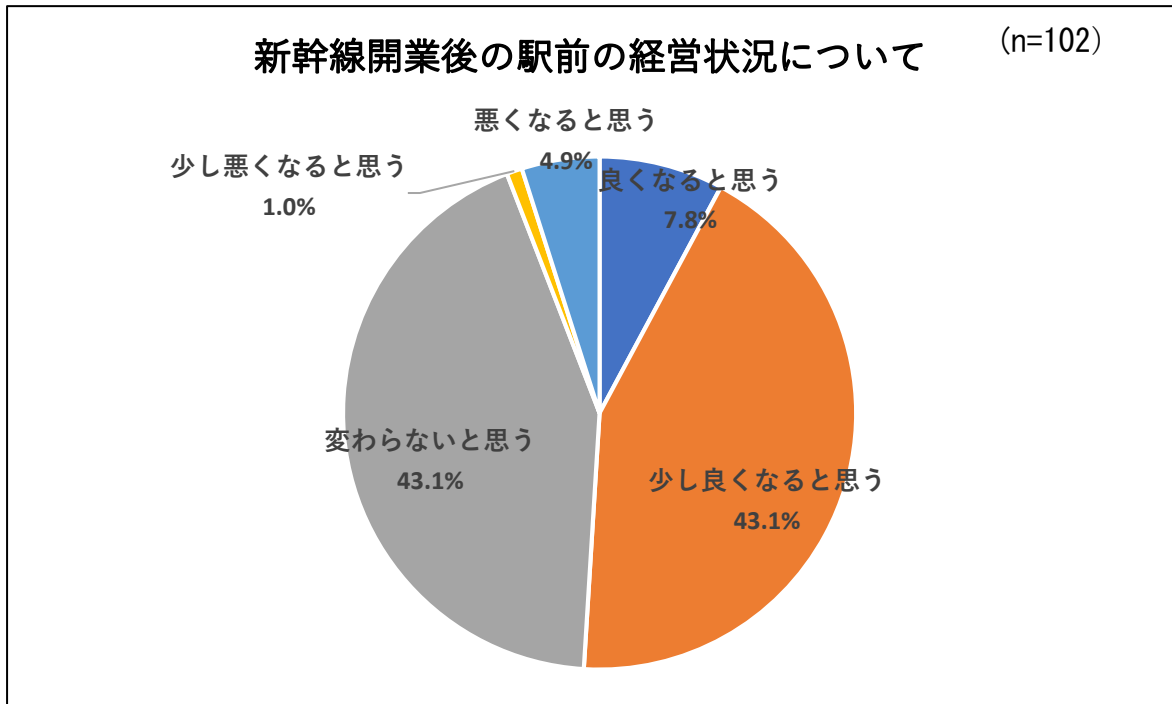
業種別では、小売業で最も多い回答が「悪くなると思う」で、32.4%の割合である。飲食業は「変わらないと思う」が多く 50.0%、サービス業では「変わらないと思う」が多く 52.6%となっており、小売業の先行き予想が最も厳しい。



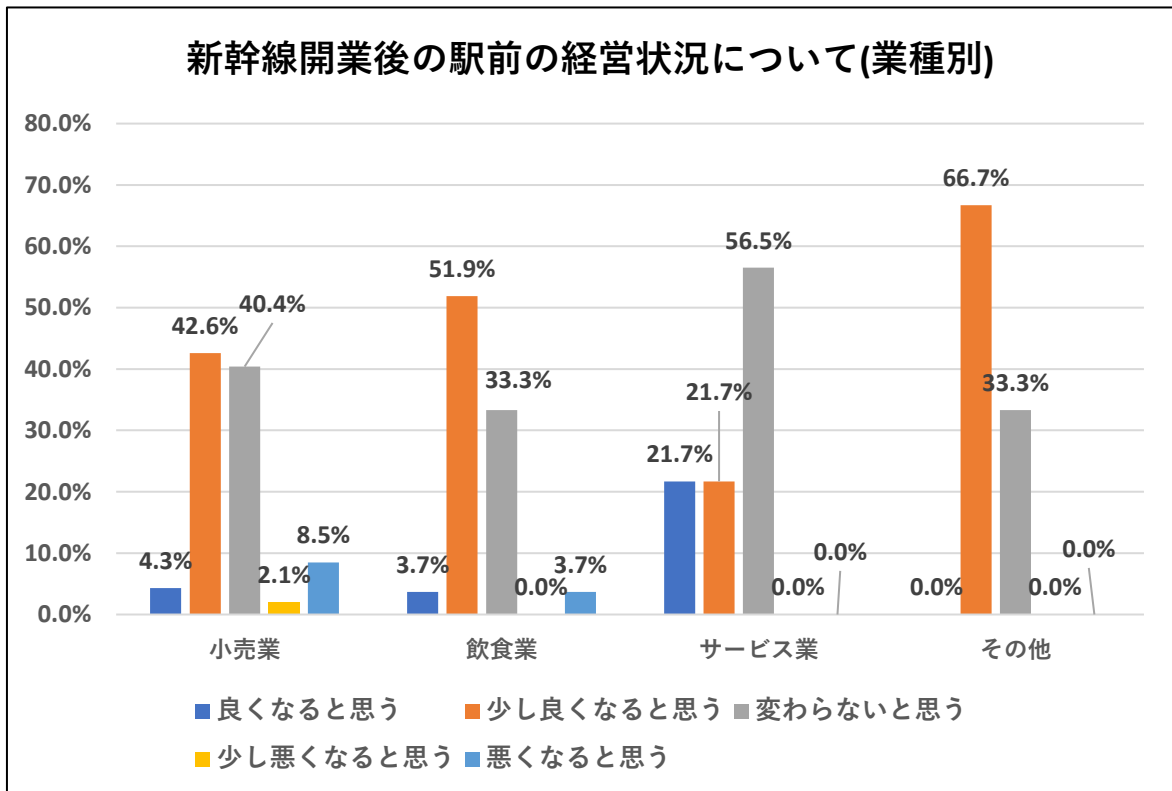
(5) 新幹線開業後の経営状況予想

【新幹線開業効果については約半数が期待】

新幹線開業後の駅前の経営状況については、「良くなると思う(7.8%)」と「少し良くなると思う(43.1%)」をあわせると50.9%と半数を超える。一方で、「変わらないと思う」も43.1%あり、開業効果への期待について意見が分かれている。



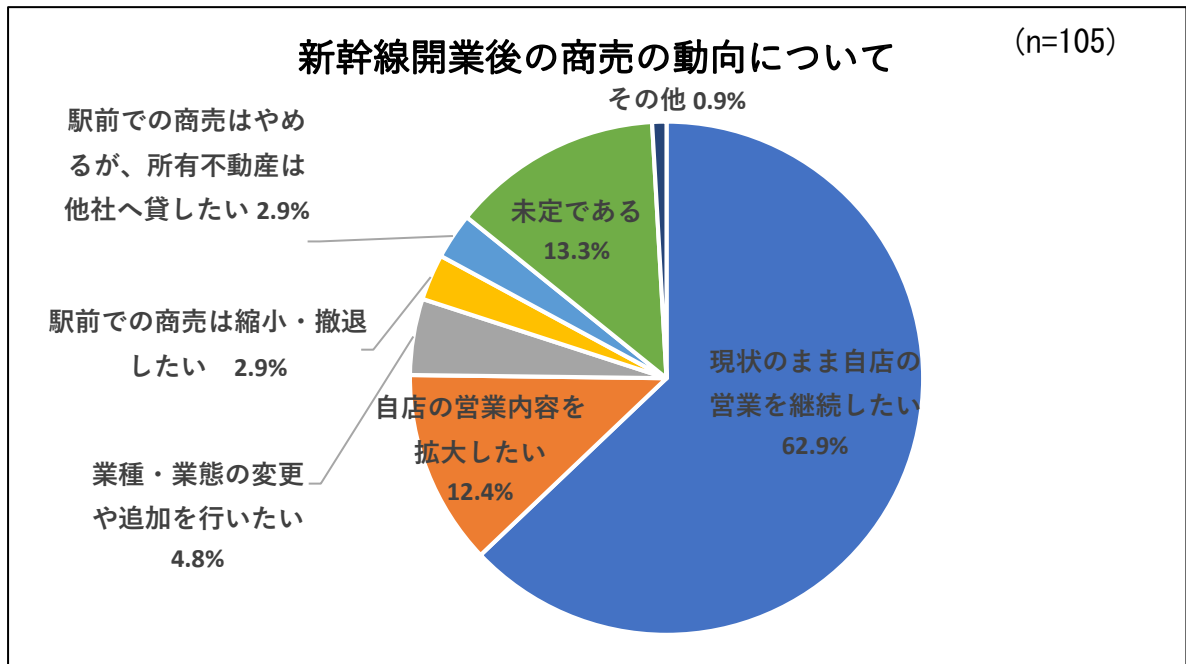
業種別に見ると、サービス業で「変わらないと思う(56.5%)」とする回答が多く、他業種よりも「少し良くなると思う(21.7%)」の割合が低くなった。



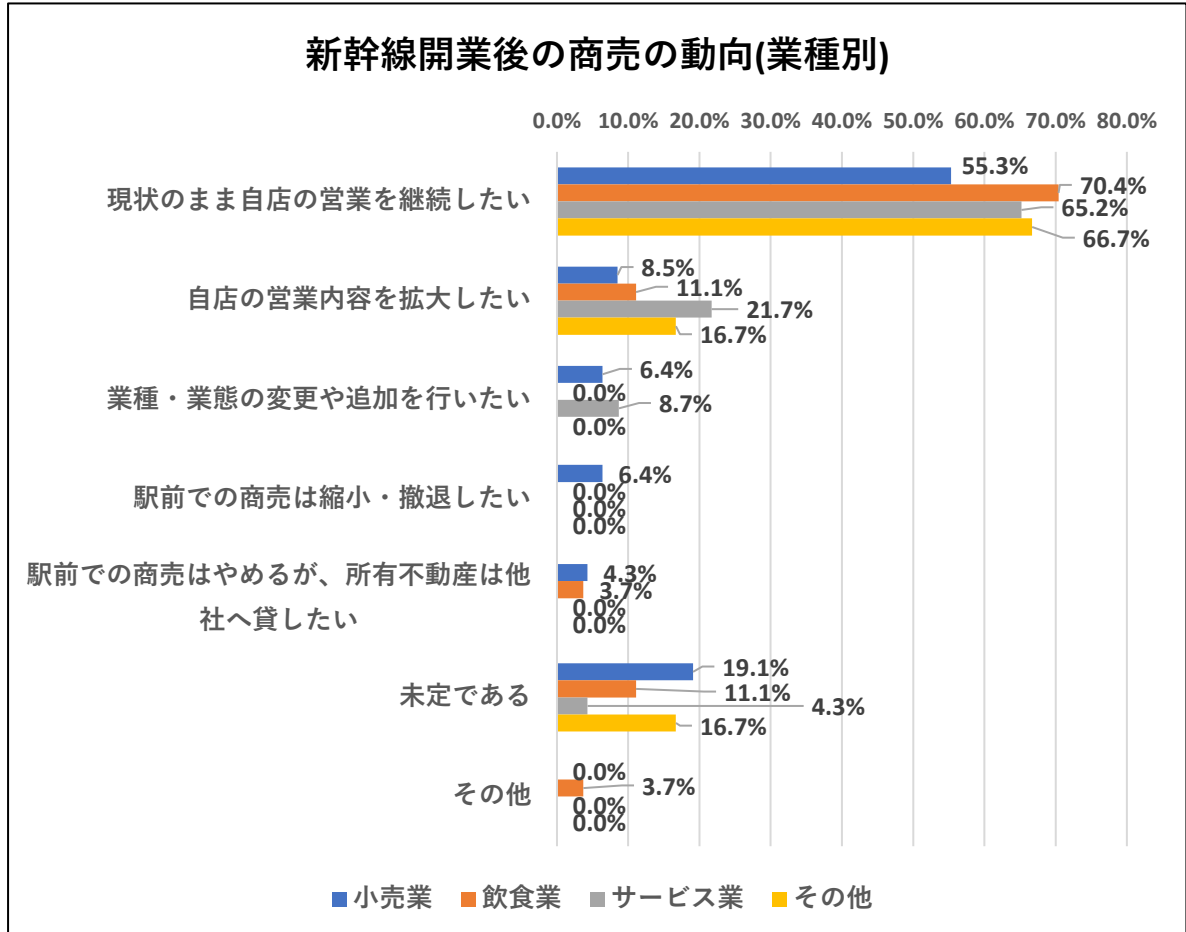
(6) 新幹線開業後、自店の商売の動向について

【「新幹線開業後も営業を続ける」とする割合は飲食業で7割超】

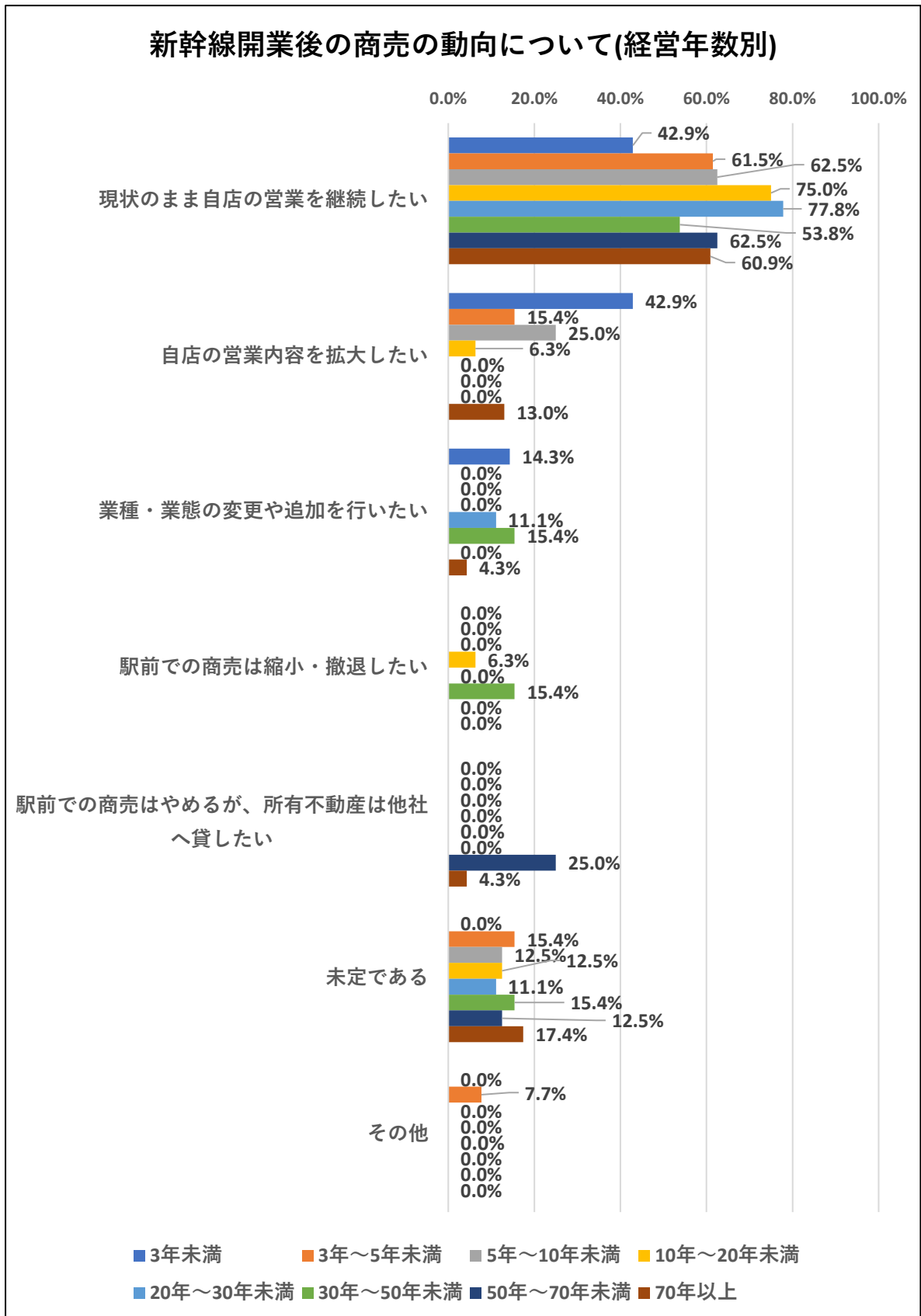
新幹線開業後の商売の動向については、全体で見ると、「現状のまま、自店の商売を継続したい」と考えている割合が62.9%と最も高くなった。全体的に、新幹線開業後も駅前で商売を継続したいと考えている事業所は多い。



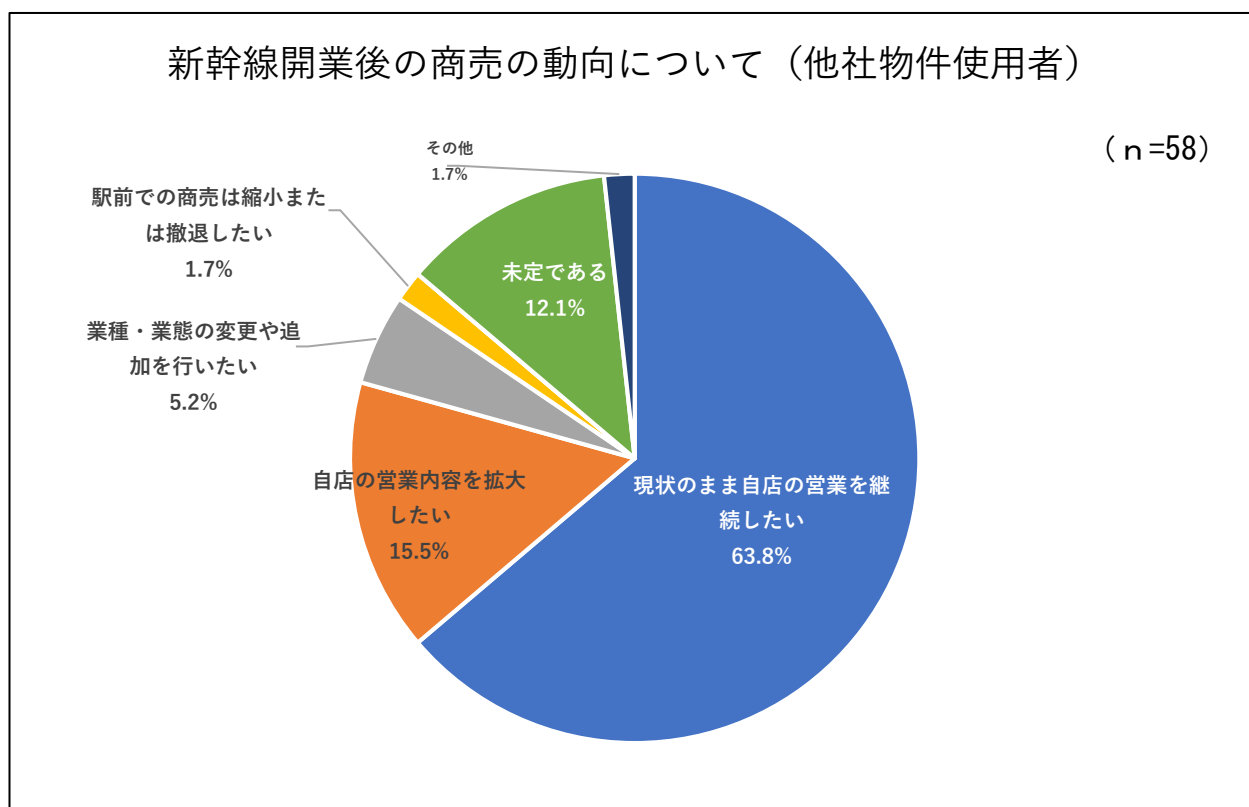
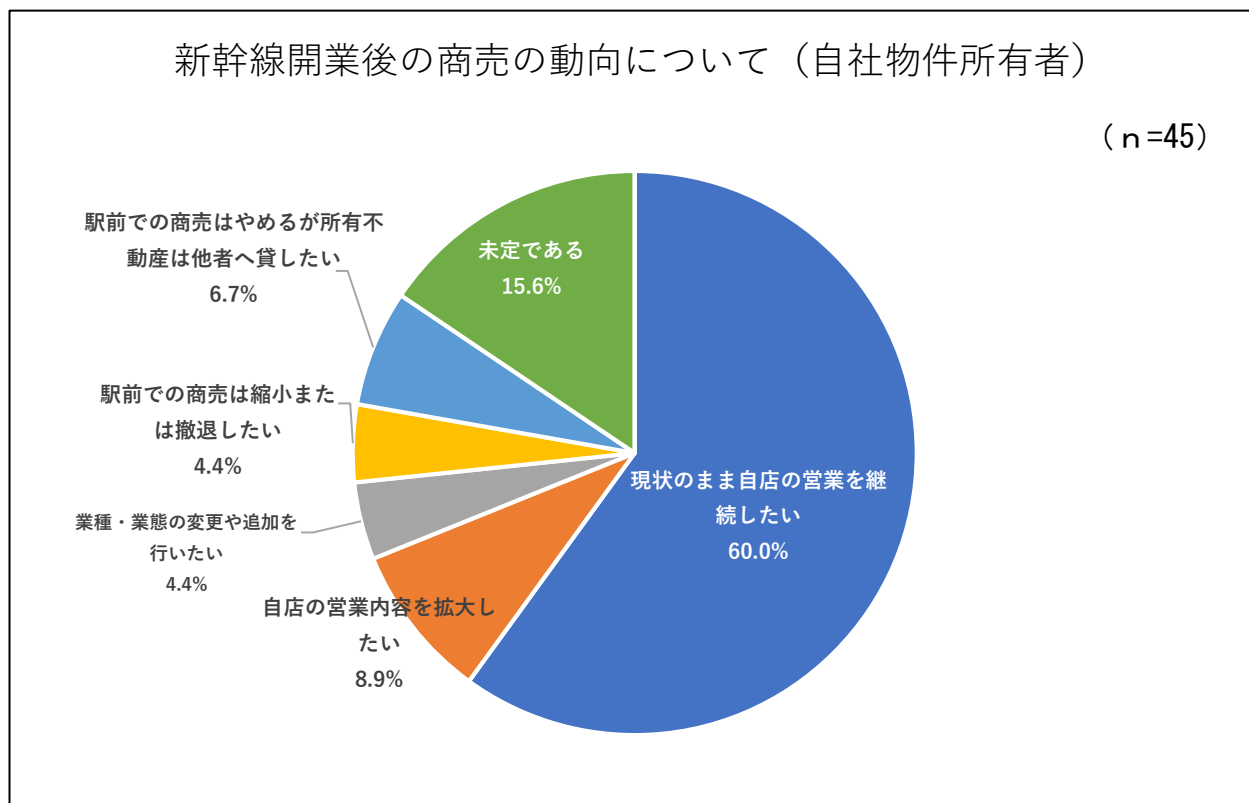
業種別に見ると、小売業で「駅前での商売は縮小・撤退したい」や「未定である」への回答が他業種より回答割合が高くなった。



業歴別に見ると、現状継続の割合が高かったのは、経営年数「20年～30年未満」の事業所で77.8%、次いで「10年～20年未満」が75.0%、「50年～70年未満」「5年～10年未満」が62.5%となっている。また、「3年未満」の事業所は42.9%が「自店の営業内容を拡大したい」と回答しており、比較的経営年数が短い事業所が開業を好機と捉えていると考えられる。



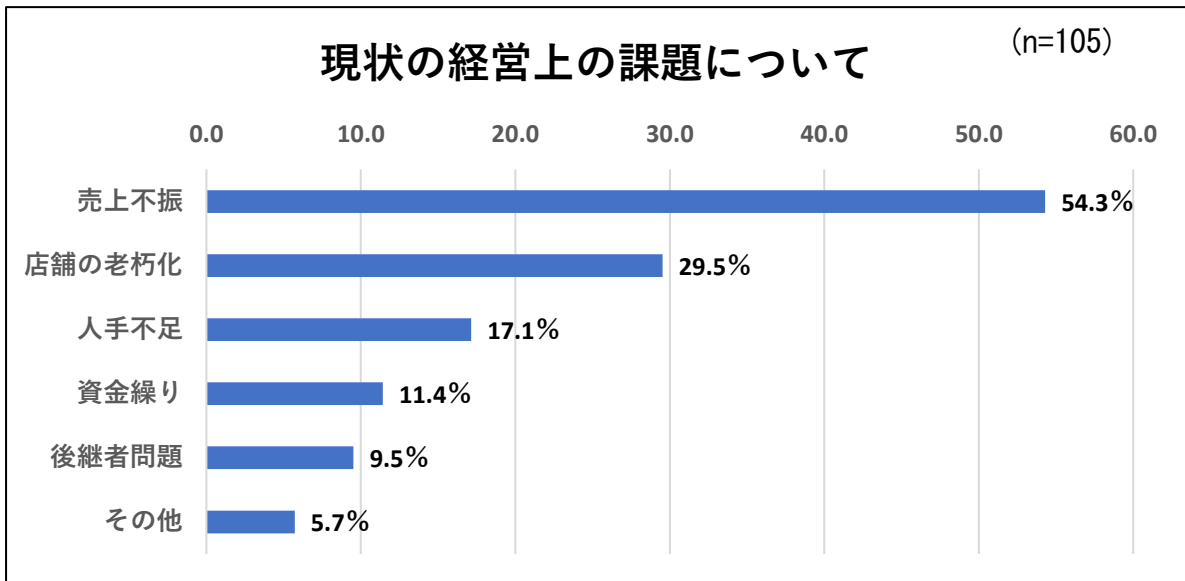
また、回答者の属性について『自社物件所有』と『他社物件使用』に分けると、自社物件所有事業所では『現状継続』の割合が60.0%を占めているものの、縮小撤退（4.4%）や他者への不動産賃貸（6.7%）を希望する回答の割合が全体と比べて高くなる。対して他社物件使用事業所では、『自店の営業内容を拡大したい』とする回答の割合が増え（15.5%）、現状のまま継続や業種・業態の変更、追加も合わせると、8割以上の事業所が事業の維持ないしは拡大、環境変化への対応を意識している姿がうかがえた。



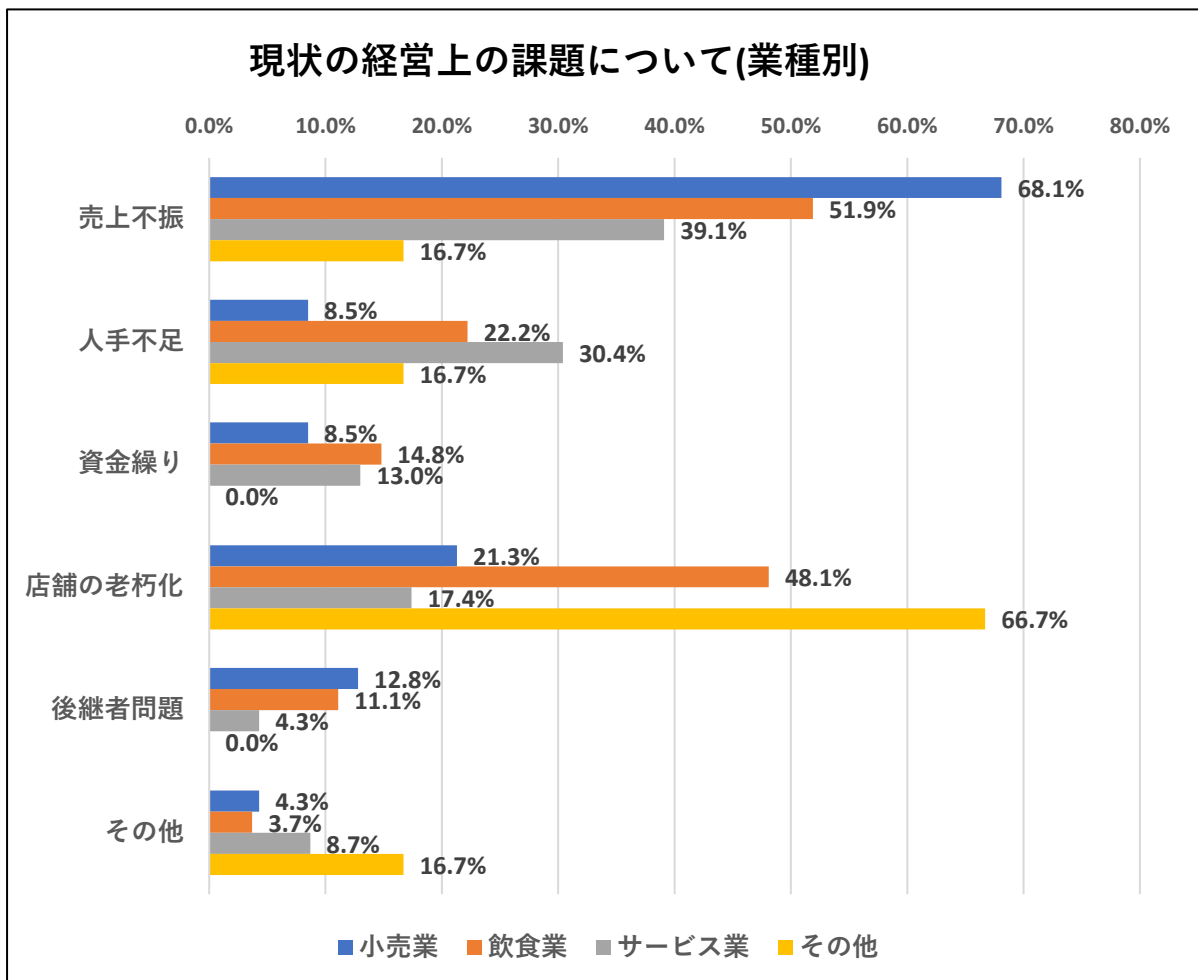
(7) 現状の経営上の課題について(複数回答)

【全体の約5割が「売上不振」を経営課題として回答】

経営課題については、「売上不振」が54.3%と最も多く、次いで「店舗の老朽化」が29.5%となっている。



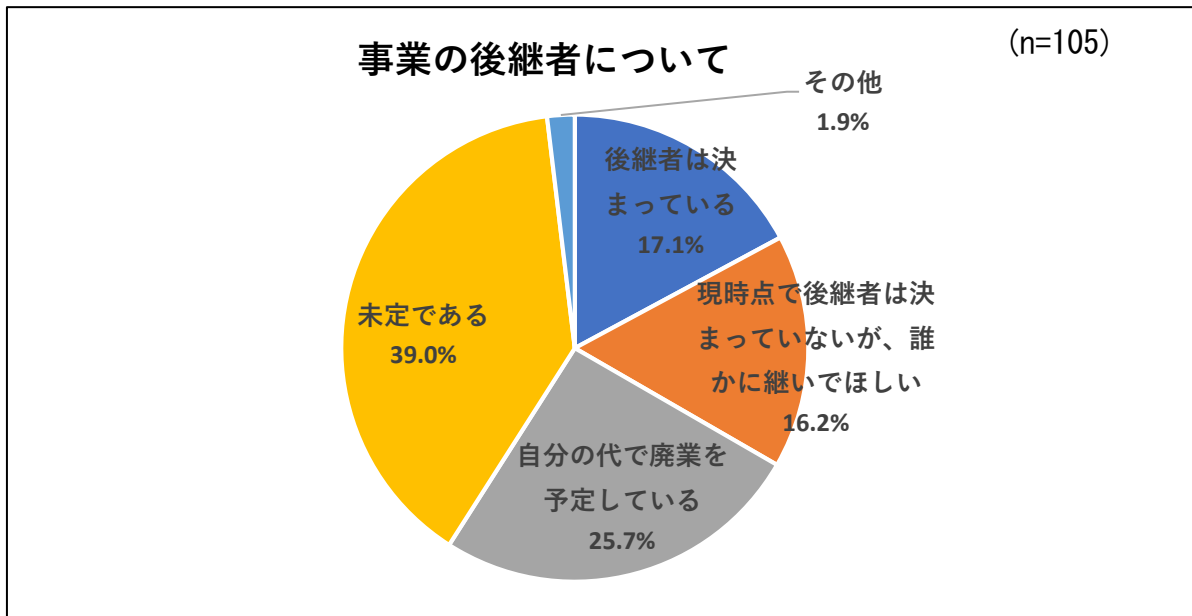
業種別に見ると、小売業・飲食業・サービス業では共通して「売上不振」が最も大きな課題であり、特に小売業では7割近い事業所(68.1%)が「売上不振」を課題に挙げている。また、「店舗の老朽化」については、「その他」が66.7%、「飲食業」の48.1%が課題と回答した。



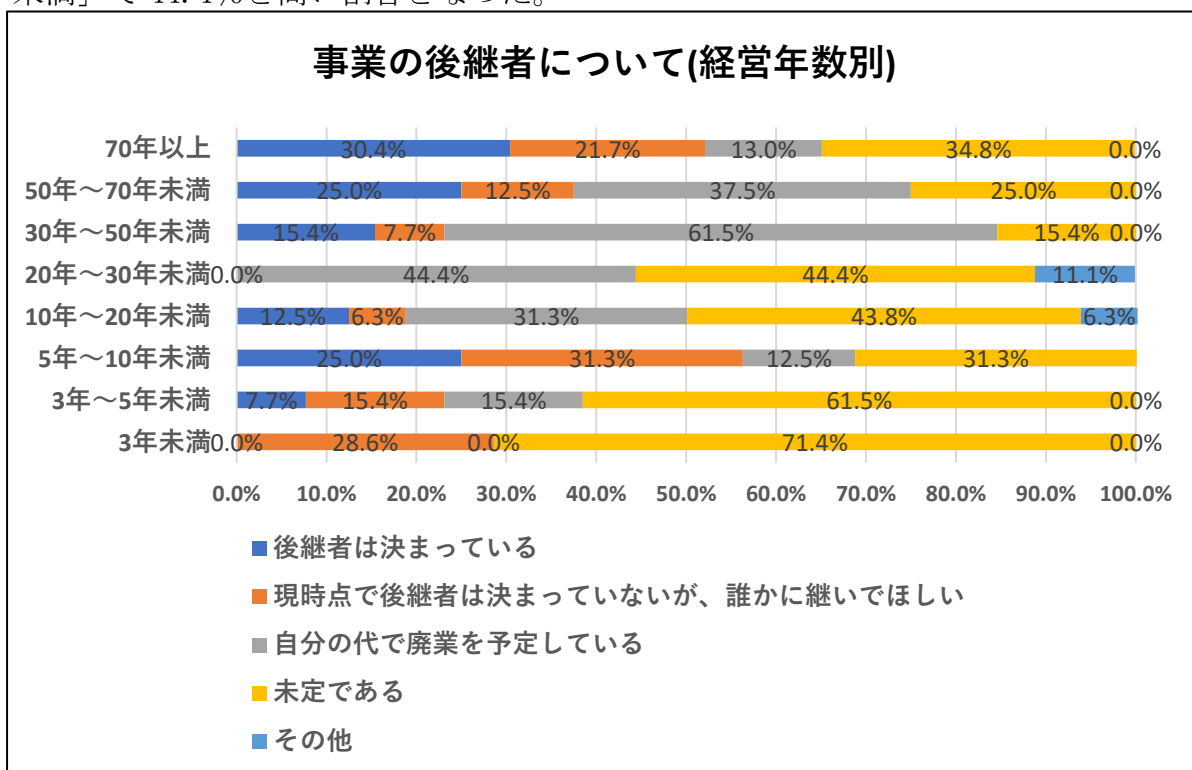
(8) 事業の後継者について

【「後継者未定」と回答した割合が約8割】

事業の後継者については、「未定である」と答えた割合が最も多く、39.0%を占める。次いで、「自分の代で廃業を予定している」と答えた事業所が25.7%となっている。後継者が決まっていない事業所（「未定である」39.0%、「自分の代で廃業を予定している」25.7%、「現時点で後継者は決まっていないが、誰かに継いでほしい」16.2%）が、全体の約8割を占める。



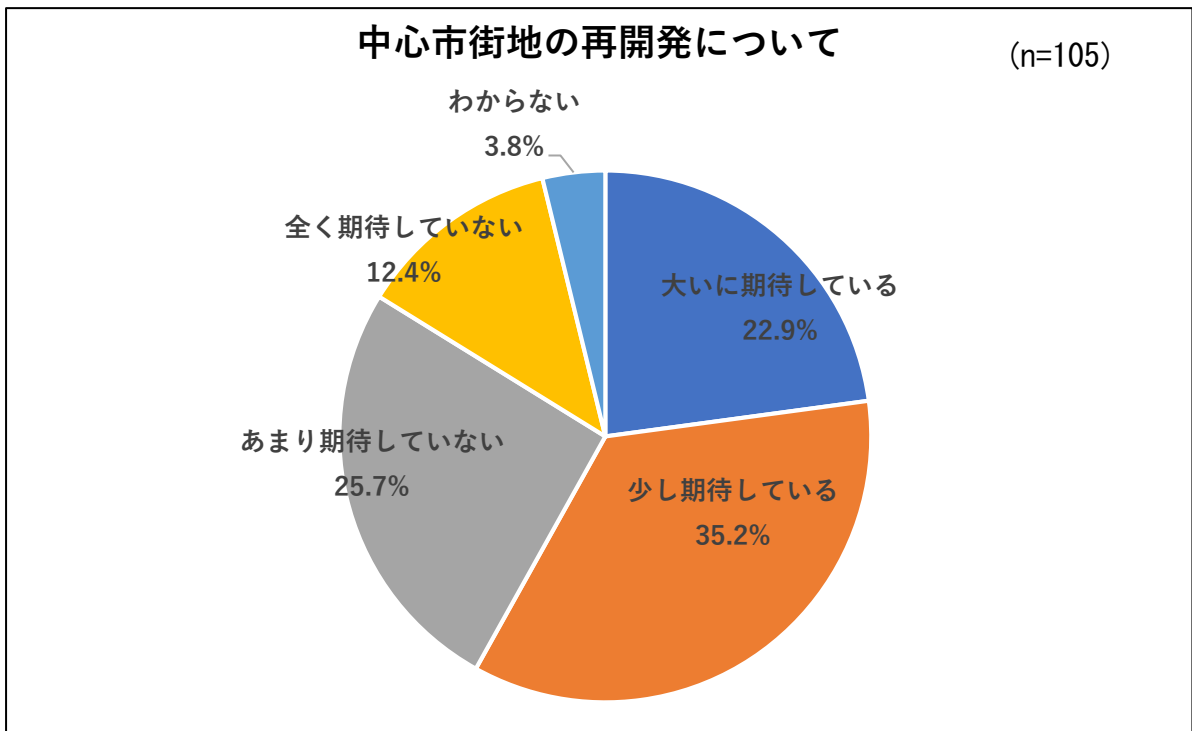
経営年数別に見ると、「後継者は決まっている」と答えた割合が最も多かったのは「70年以上」の事業所であり、30.4%、次いで「50～70年未満」と「5～10年未満」が25.0%、「30～50年未満」が15.4%となっている。一方、「後継者が決まっていない」（「現時点で後継者は決まっていないが、誰かに継いでほしい」「自分の代で廃業を予定している」「未定である」の合計）と答えた割合は経営年数に関わらず多く、特に廃業予定の回答が「30～50年未満」で61.5%、「20～30年未満」で44.4%と高い割合となった。



(9) 中心市街地の再開発について

【約6割が中心市街地の再開発に期待】

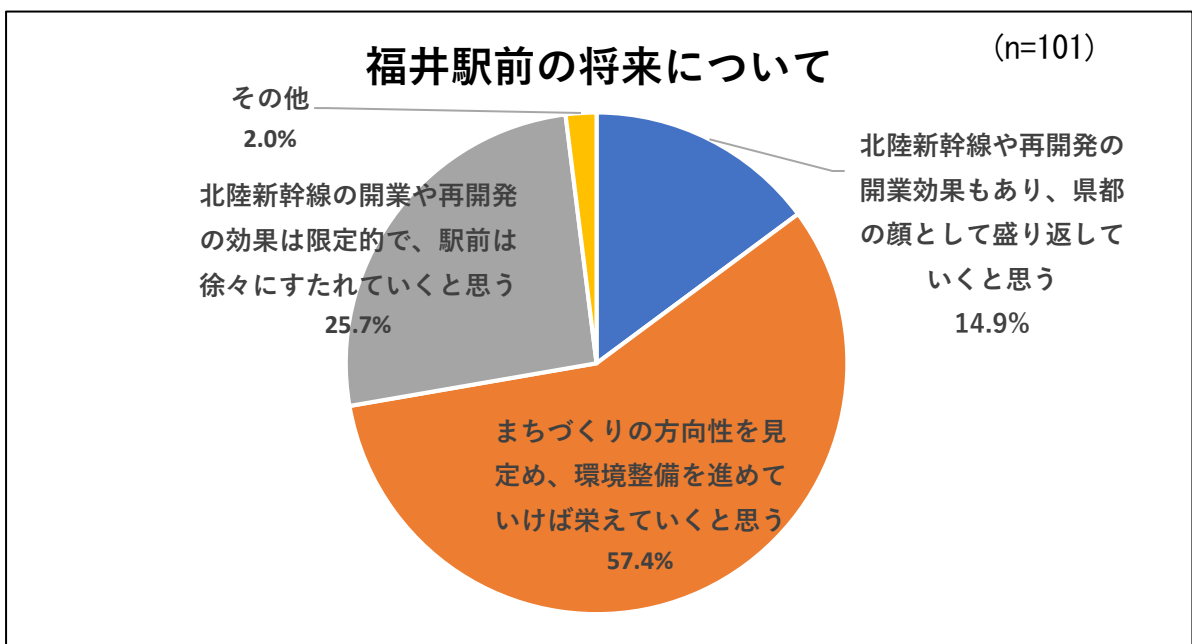
中心市街地の再開発については、22.9%が「大いに期待している」と回答している他、「少し期待している」が35.2%となっており、前向きに捉える回答の割合は、全体の約6割となった。



(10) 福井駅前地区の将来について

【約7割が駅前地区の将来に前向きな回答】

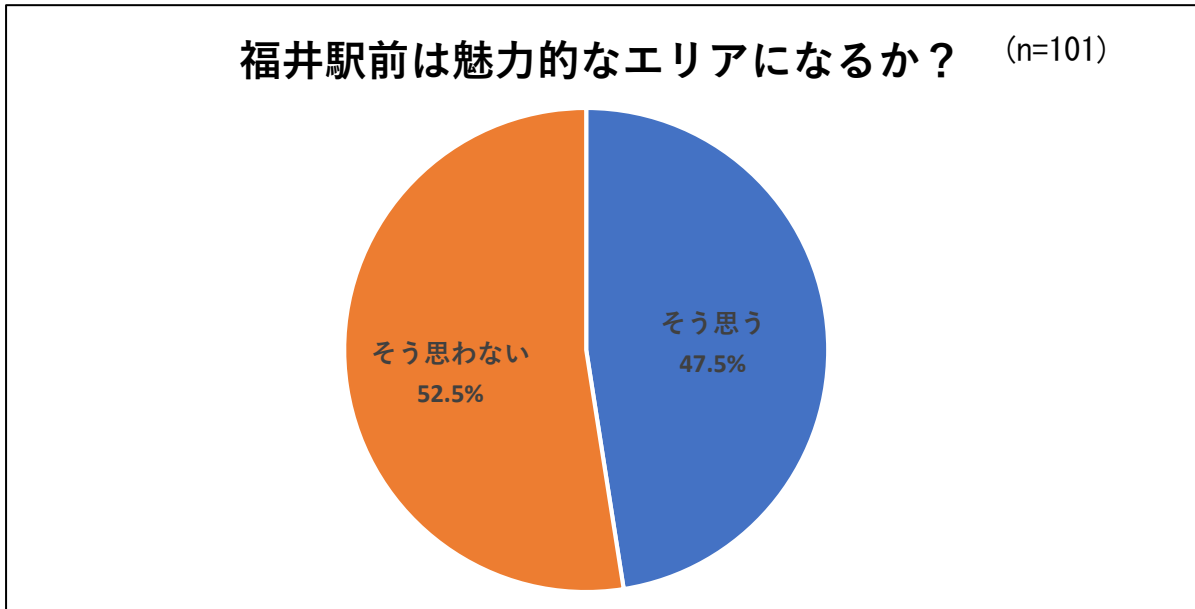
福井駅前地区の将来についても、「まちづくりの方向性を見定め、環境整備を進めていけば栄えていくと思う」57.4%、「北陸新幹線や再開発の開業効果もあり、県都の顔として盛り返していくと思う」が14.9%となり、前向きな回答があわせて約7割を占めた。一方で、「北陸新幹線の開業や再開発の効果は限定的で、駅前徐徐にすたれていくと思う」との回答は25.7%となり、全体の約4分の1が将来を不安視している。



(11)-1. 福井駅前地区は魅力的なエリアになるか？

【5割近くが新幹線開業後の福井駅前地区を「魅力的である」と回答】

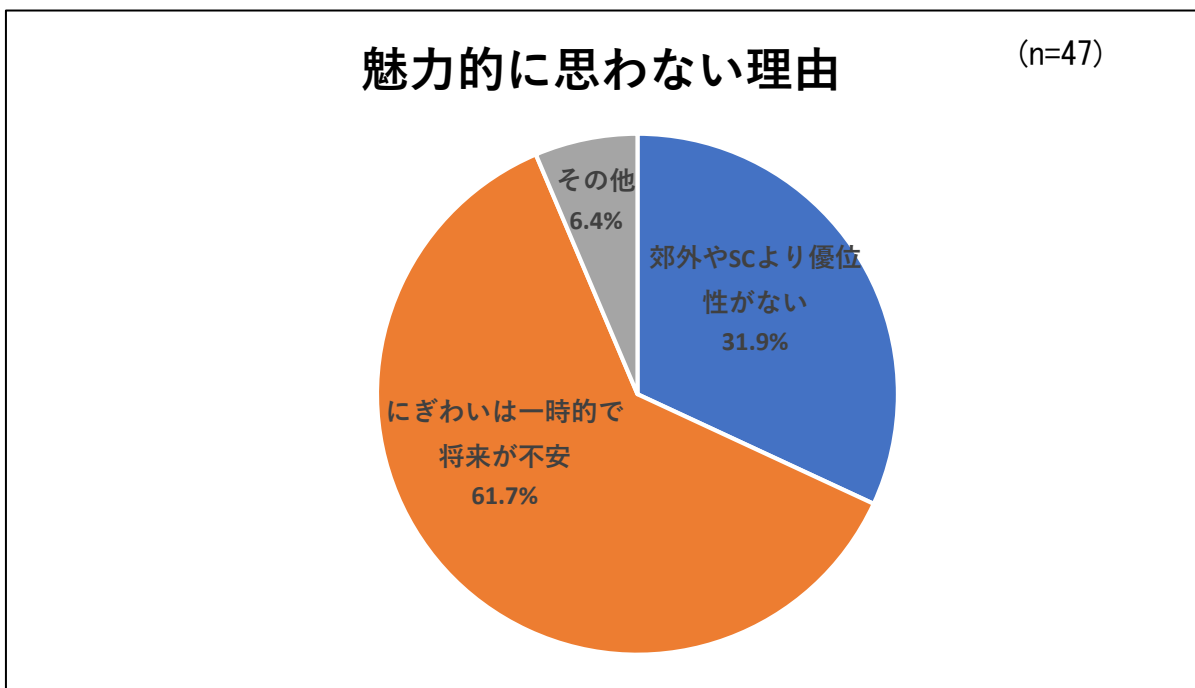
北陸新幹線開業後の福井駅前地区は魅力的なエリアになるか？という設問に関しては、「そう思わない」が 52.5%と過半数を超えており、(9)(10)の設問における再開発や新幹線効果への期待とは裏腹に、エリアとしての魅力の弱さへの懸念が見受けられる。魅力的になると思う(47.5%)とした回答者に、ビジネスとして魅力ある業種をたずねたところ、「飲食業」を上げる割合が 53.3%であったのに対し、「衣料品小売業」は 13.3%にとどまった。



(11)-2. 魅力的に思わない理由

約6割が「にぎわいは一時的で将来が不安」と回答、新幹線効果は限定的との見方】

(11)の設問で、「そう思わない」と答えた方の中で、魅力的に思わない理由として最も多かったのは、「にぎわいは一時的で将来が不安」で 61.7%、次いで「郊外やSCよりも優位性がない」が 31.9%となった。



3. 主な自由意見

テーマ：福井駅前のまちづくりについて

<提案・アイデア>

- ・企業や行政に頼ることなく、若者の活動しやすいオープンな場所になって欲しいと思う。
(ファーストフード店の充実など)
- ・県外客を集められる街づくり、他県にはない空間にしてほしい。例えば、新栄商店街を中心としたエリアを「恐竜の森」にしてはどうだろうか。
- ・新栄商店街の古さが際立つと思う。(再開発が進むほど) 古さを生かしたまちづくり or 再開発を考えていくべき。
- ・私共は福井を代表するそばの体験ができる店ですが、越前焼やガラス工芸などが駅前で体験できると良い(越前和紙とかも)。越前焼の器で、そば打ちしたそばを食べるなどの企画ができる。
- ・福井でここだけしかないブランドなどがあれば栄えると思う。
- ・新栄の場所を市場、またはショッピングモール等にしてにぎわいのある街にすべき。
- ・福井駅前から観光の出発点となるような施設案内や情報発信が必要。(プラネタリウムを使ってみては?)
- ・駅前商業エリアにマンション確保は良くない。できるならば、イオンモール(都市型)などのSCを組み込んだ方が活性化する。
- ・福井駅前に観光資源と言えるものがない。また、三角地帯の店舗なども不安がある。福井城址の復興などなにか資源になるものを創出できると良いと思う。
- ・福井で途中下車してくれるルート作り、福のテーマ館「福の井」を前面に出した地域づくり・まちづくりを考えると面白い。そうしてほしい。
- ・横浜の中華街みたく、福井駅前に100軒程度のそば関連の店を集中させ、「そば横丁」「そばエリア」として見せれば、インパクトは大きいので目立つのではないかと思う。

<要望・提言>

- ・魅力あるお店があれば、人は集まる。どのようなテナントが入るのか早く知りたい。
- ・町中に生活感がない。住みやすい環境作りをしてほしい。
- ・まち歩きを楽しめるエリア、10年後世界遺産になるような街づくりを。
- ・小さいお店が生き続けられる「まち」に。作っていくのは、行政だけでなく、まちの人や市民だと思ふ。自分のまちを胸張って紹介できるように、まちの人が自信を持てるといいなと思う。
- ・メイン通りだけでなく、商店街や北の庄通り等も活性化させてほしい。
- ・駅前がお互いに互換関係を持ち、「住んでいる人」「働いている人」「観光できる人」にとって便利な駅前になることが必要であると思う。
- ・文化的な施設造りを考えて頂きたい。
- ・福井駅前の商店街は、駅のすぐ目の前に立地している全国でも珍しい手軽に利用できる繁華街である。その中心にただ1軒のデパートである西武福井店があるが、その前に再開発としてマンション、サ高住が計画されており、地元の人・新幹線開業で他県から来られる方に満足してもらえる商店街は消滅しようとしていて、お先真っ暗。
- ・福井は魅力度では44位、Uターンしたいランキングでも41位と低迷している。「50年に1度の開発」というのなら、「今後50年後悔しない開発」で魅力あふれる福井らしい商店が集まる

街づくりを考えるべき。

- ・ 郊外 SC との差別化の確立とアーバン性の表現の拡大化。
- ・ 福井の身の丈にあった再開発をお願いしたい。車で来るのが便利な駅前を目指してほしい。
- ・ 東口も開発されることを願う。
- ・ 美術館・イベントホールを作って欲しい。マンションが増えても、実際には生活に足りない店が多い。電機店・スポーツ用品・子供用品・ドラッグストアなど。
- ・ 地元に愛される街づくりが必要。
- ・ マンションをたくさん作り、コンパクトシティ化するのであれば、大型のスーパーやドラッグストアなどを車なしで行けるように誘致していくべき。
- ・ 駅前で福井の伝統文化が感じられるところが少なく、良さを強調するものが欲しい。駅の恐竜はとっても良いと思うが、それに続くものが欲しい。
- ・ 10年、20年後の未来に向けての展望があまり見えてこない。他県、都会と同じことをしてもダメではないか。福井らしいまちづくりを希望する。
- ・ 県庁、市役所を福井の玄関口の東部に移設することを要望する。
- ・ 1. 若い人の意見など(アンケート、SNS)を発信してもらえる街に！2. ネックの新栄商店街を早く県にお願いしてほしい。
- ・ 今や大和田地区で何でもそろろう。駅前独自の企画や強力な商業施設が必要だ。
- ・ 駐車場の完全無料は無理にしても、何とか2~3,000円買い物をしたら、5時間位無料になるよう工夫してほしい。
- ・ 足羽山を整備し、1年中花が咲くようにする、カフェ・レストラン・その他店舗等観光の目玉になるようにすること。駅前から歩いて行けるので、バスもあればよい。
- ・ 再開発が進んでいるが、もっと回遊性を重視したにぎわいのあるまちづくりを。
- ・ 連帯感のあるまちづくり。
- ・ たばこのポイ捨てが多い。道の整備は急いだほうがよい。
- ・ 福井でここだけしかないブランドなどがあれば栄えると思う。
- ・ 駐車場料金をもっと安く利用できるとお客様がもっと来てくれるような気がする。
- ・ 若い方を呼び込めるような大手アパレルなど地元にはないものを取り入れないと、結果的に地元(駅前)も盛り上がらないと思う。大手に人を連れて来てもらうことで、地元(駅前)の商店も潤う。
- ・ 福井県の魅力化が重要と考える。
- ・ 県外客はあてにはならない。まず、福井県内の客に来てもらう策を考えて欲しい。
- ・ 駅前をわざわざ選ぶ人たちの共通項を探しながら、個性と共存の間で「にぎわい」が生まれると思う。
- ・ 同士を含め、駅前をわざわざ選ぶ人たちの共通項を探しながら、個性と共存の間で「にぎわい」は生まれると思う。
- ・ なんでもかんでも新しくすれば人が来るという前時代的な考え方はやめた方がよいと思う。
- ・ 今、SDGs が世界的に叫ばれている中で、使えるものは頭を使ってイノベーションするという考え方をしていかないと、他の都市と変わり映えしない風景になって、結果また忘れ去られる街になる。ただでさえ、エキマエは震災後からしか歴史がない。新栄商店街は店子たちがそれを大事にしている最後の砦とも言える。強欲な地主たちの声に、耳を傾けて再開発を進めた日

には、もう福井の人でさえも駅前の魅力を感じずに去っていくこととなる。

- ・素晴らしい街には素晴らしい人を惹きつける人が必ずいる。人を惹きつける素晴らしい人間づくりも大切。
- ・まちづくり福井の事業には非常に期待している。一方で、車社会の福井では郊外に人が流れるので、駅前・中心市街地に人が集まりやすい仕組みを作ることが必要。月に一度、イベントをする際にはコインパーキングなどの無料化をしている取組は今後も継続してほしいし、中心市街地から1~2駅のところにパークアンドライドの駐車場を検討してほしい。
- ・駅前において、仕事をしていると、非常に魅力的な店舗があることを知っている。郊外に行くよりも駅前の方は魅力がある一方、駐車場はネックだと感じる。
- ・足羽川の河川敷を利用して、子供と一緒に遊ぶことができるようなスペースを作ることにはできないかと思う。前回の河川敷でのイベント(キャンプ・BBQ)は非常に良かったと思うし、中央公園が整備されているので、中央公園も非常に魅力的な場所の一つだと思う。中央公園付近の店舗がどのような店舗があり、家族連れにとって魅力的なものであれば、もっと駅前に足を運びたいと思っている。
- ・色々な規制を廃止してほしい。
- ・新幹線開業後は日中、観光客は観光地に行くので駅前は夕方~夜にかけていろんなイベントを開催してほしい。

<その他>

- ・真面目にひたむきに今の仕事を頑張ろうと思う。
- ・駅前に人が集まることを願うばかりである。
- ・新幹線開業後の金沢を知っている。福井駅前が繁栄していく為に、当店でできることをしっかりやりたいと思っている。
- ・駅前にある既存店舗も見せ方を変えれば、業種関係なく集客や売上もアップする。
- ・駅周辺の開発がごとく外資や県外企業によるのはおかしい。
- ・他県の県庁所在地に比べると、規模も進捗状況もしょぼい。再開発が進むのになんだかんだで50年かかるんじゃないかと危惧している。
- ・ハード面を作っても、一時的。
- ・結局のところ、車ベースの生活が変わらないと駅前は難しいと思う。
- ・全く期待していないので、これ以上余計な事しないでほしい。
- ・通過点にしかない
- ・アオッサのようになるのでは・・・と不安もある。頑張してほしい。
- ・「まちづくり」が今、どんな活動を行っているのか、何を目指しているのかという情報が得られない。情報の共有が一部の方たちに限定されているのではないか。
- ・実際に店を出していない人間に限って「駅前のことを考えている」とか「まちづくりについて話し合っている」とか言うので、イライラする。
- ・新幹線が開業しても、敦賀止まりであれば、サンダーバードやしらさぎの福井乗り入れがなくなり、同地域からの訪問は減ると思う。